現 行	改 正 後（下線部分は現行にもある項目・内容等）
【講習テキスト（基本テキスト）】 第 1 部 紛争事例編 <序 不動産取引にかかわる最近紛争事例と実務上の留意点> <第 1 編 重要事項説明等にかかわる紛争事例と実務上の留意点> <第 2 編 権利関係にかかわる紛争事例と実務上の留意点> 第 2 部 関係法令編 <第 1 編 宅地建物取引業法の概要> 第 1 章 宅地建物取引主任者の任務と心得 第 1 節 宅地建物取引主任者制度の創設の経緯 第 2 節 宅地建物取引主任者の任務 第 3 節 宅地建物取引主任者の心得 1. 要求される専門家としての知識 2. 宅地建物取引業従業者としての守るべき義務 3. 永続的な営業努力と高度な職業倫理 4. 取引主任者資格を有しない従業者との連携 第 4 節 基本的人権の尊重 第 5 節 個人情報保護 第 2 章 宅地建物取引業法の目的と内容 第 3 章 宅地建物取引主任者制度 第 4 章 宅地建物取引主任者の事務 第 5 章 宅地建物取引業務に関する規制 第 6 章 監督 <第 2 編 媒介契約> <第 3 編 権利関係> <第 4 編 法令制限> <基本コンセプト> ◎現行の「第 2 部 第 1 編 第 1 章」の箇所を独立させ、宅地建物取引士の使命・役割・心得とコンプライアンスを中心的な内容として再編。 ◎項目・内容は、実践的な知識が得られるよう事例等も追加し、大幅に拡充または新設。	【新設・別冊】宅地建物取引士の使命と役割 <第 1 編 宅地建物取引業法の改正> 1. 旧・宅地建物取引主任者 制度創設の経緯 2. 平成26年度改正の概要（宅地建物取引士への名称変更、3 項目の明記） <第 2 編 宅地建物取引士の使命（総論）> 1. 宅地建物取引業の社会的責任 （住生活の向上に寄与するという公共性の高い産業、非日常的な取引であることから消費者からの高い信頼性が要請される産業） 2. 不動産取引業務における中核的な役割 （使命：社会的責任の理解、会社の「顔」・「代表」、不動産の専門家として安心安全な取引を確保） 3. トラブルの未然防止やクレーム処理 （1）提供情報の正確性・網羅性、説明徹底などの再認識 （2）クレーム対応等（クレームの意義の理解、迅速な対応などの基本動作） 4. 顧客サービスの能力向上の必要性 （1）中古住宅流通促進のための事業者間連携 （行政情報、インスペクション等の業務内容、取組み事例） （2）取引に付随する相談能力の向上（相続、有効活用） 5. 災害時における対応 <第 3 編 宅地建物取引士の役割と心得（各論）> 1. 宅建業法関係の任務（重要事項説明、重説・契約書面記名押印） 2. 宅地建物取引業務の業法規制等の遵守徹底（概要のみ。詳細は講習テキスト） 3. 心得 ①高度な職業倫理 ②<u>不断の自己研鑽</u>（研修、資格取得等） ③一般従業者への指導・助言 <第 4 編 宅地建物取引業とコンプライアンス> 1. コンプライアンスの定義、全体像（不動産業務の関連法令など） 2. コンプライアンスの意義・機能（リスク管理、会社や従業員を守る、顧客の信頼醸成） 3. 宅地建物取引業における具体的事例（概略を列記）、注意点 4. 個別事項 （1）<u>基本的人権の尊重</u>（判例等を追加） （2）<u>守秘義務、個人情報保護</u> （3）<u>反社会的勢力の排除</u> （暴対法・暴排条例、暴排契約条項など） （4）<u>マネー・ローンダリング対策</u> （犯罪収益移転防止法、本人確認・疑わしい取引の届出などの手続の概要） 【講習テキスト】 第 1 部 紛争事例編（事例は一部入替え予定。） 第 2 部 関係法令編（新設する別冊以外の内容。）